

令和6年7月

魚津市定例記者会見



日時：令和6年7月1日(月) 午後1時30分～午後2時10分

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞、朝日新聞、
NHK 富山放送局、NICE-TV

市当局出席者：市長、情報広報課長

【市長からの発表事項】

1. ペットボトル水平リサイクルに関する協定書締結式 (生活環境課)

現在、市で分別回収をしたペットボトルは、市内の業者さんに譲渡し、ペットボトルは、例えばトレイになったりと、基本的には事業者の方で利用が決まっていくという現状ですが、これをペットボトルからペットボトルにリサイクルするといった水平リサイクルに取り組むこととなります。

より環境負荷の低い資源循環リサイクルを、実現していこうという取り組みになります。

おそらくこの実施は県内初となります。この水平リサイクルの開始時期としては、来年4月を予定しております。大体、魚津市内全体でいくと年間100トン、500ミリリットルのペットボトルにして約400万本相当が回収されています。これを今申し上げたりサイクルの取り組みにのせていきたいと考えています。

2. 「カムカム弁当」体験講座 (健康センター)

魚津市はあいおいニッセイ同和損保さんと連携協定を締結をしていますが、このたび、あいおいさんが東京医科歯科大学さんと、オーラルフレイルの予防をしていこうと展開している体験講座を魚津市で開催することとなりました。ちょっと歯ごたえのある食べ物をしっかり食べて、口内フレイルの予防をしていこうという取り組みです。

3. 関係人口創出・拡大事業 Uozu well-being week (～8/4) (地域協働課)

今年は2回目の開催ということになり、内容は、市外在住のテレワーカーの方を対象にして、仕事の傍ら、魚津の地域の人達と、お祭りですとか、キャンドルロードのイベント、こういったものの、準備段階から片付けまで関わってもらおうという取り組みです。

現在、魚津まつり応援団ということで、参加者を募集しています。その他、SUPの体験ですとか、洞杉など市内の自然体験、或いは地域住民の方との交流イベントなども企画をしております。

4. Uozu well-being トークセッション vol.2

(地域協働課)

キャリアや結婚、子育てなどの様々なライフステージを迎えながら、自分らしくポジティブに生きる女性たちをゲストに迎えて、トークイベントを開催します。ゲストスピーカーとしては、2人。参加は無料ですので、市内の子育て世帯やワーケーションに興味のある方に参加をいただければというふうに思っております。

5. TUNAGU PROJECT(一次産業ワーケーション)

(地域協働課)

実施主体は、一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会が農林水産省の助成を受けて展開をする事業になります。1次産業ワーケーションを活用した人材育成プログラムであります。高齢化、人口減少担い手不足といったことが深刻な、第一次産業、ここに関わる人をふやしていきたいというのが、このねらいになっています。

1年間のうち15日間の体験研修を3シーズに分けて展開をするものであります。

(スケジュール等説明)

この第一次産業ワーケーションは日本全国で、魚津市を含めて6市町で展開をされています。我々はこの横連携を図りながら、第一次産業のワーケーションというものを深めていきたいということで取り組みを一緒にやっています。

6. UOZUマイクラフト プログラミング教室

(商工観光課)

つくるUOZUプロジェクトの行事になります。小学校4年生から6年生までを対象として、教育用のマイクラフトを使って、プログラミングで、ミラたんを作ります。マイクラは、世界的に子供たちに普及しているプログラムになります。非常に自由度が高いため、どのようにしてこれを生かすかというふうなことを考えること自体が、いわばプログラミングの的的思考に資するというので、今回こういった取り組みを実施します。

7. 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト 親子体験会

(農林水産課)

毎回ご案内をさせていただいております。魚津の農林水産業体験応援プロジェクトであります。7月開催分はゆかり営農組合さんの会場をお借りして、白ネギの苗の植え付け体験を行います。

毎回人気の体験教育ということで、また取材方、よろしくお願ひしたいと思ひます。

8. 全国自治体フロントヤード改革度ランキング2024」全国第37位

(情報広報課)

全国自治体フロントヤード改革度ランキング2024で魚津市が、全国第37位になったというお知らせです。県内自治体で、唯一の100以内に位置づけられたようです。

時事通信社が、総務省の実施している調査のデータをもとに、独自にやっているもので、デジタル技術による行政手続きの住民側の負担軽減という視点と、自治体側の業務効率化という、その両方の視点から、それぞれいろんな評価項目あるんですけど、それを点数化したものであります。今回のランクインは、魚津市の書かない窓口、公式ラインの申請といった事業などが、高い評価を受けているようであります。

9. 市政バス事業「うおづ de バスタビ」

(情報広報課)

定員が各コース15名ということで、夏休み中の企画になります。私も参加する予定ですが、昨年市長と会話する時間が短いといったご指摘もありましたので、ぜひそういった機会を設けていければなというふうなことで今調整中であります。ちなみに昨年は親子向けということで、22名の方にご参加をいただきました。

10. みんなで1万本ノック in 魚津

(生涯学習・スポーツ課)

昨年に続き、2回目になります。昨年大変好評で非常に盛り上がったのですが今回はまた違うメンバーで開催をしていきたいと思えます。(ゲストの紹介)。この前日には、アソボールという未就学のお子さんを対象にした幼児向けの運動遊びも行います。

11. UO! SPO! ~Pana Festa 2024

～埼玉パナソニックワイルドナイツラグビークリニック (生涯学習・スポーツ課)

チームから、OBや現役選手にお越しいただき、3日間のイベントを実施します。5日は、よつな小学校の方で、子供たちと給食を食べてもらって、大きい人だなと喜んでもらおうかなと思っています。ラグビー体験教室も5年生を対象にやります。市役所にもご訪問いただくという予定になっていて、パナソニックスポーツ株式会社の代表や、市のラグビーフットボール協会の会長さんもおいでになります。

12. 魚津国際ジュニアピアノフェスティバル (生涯学習・スポーツ課)

もうすでに始まっており、取り上げていただいておりますけれども、もう一度、私の方からご案内をさせていただきたいと思えます。ニューヨーク在住で、若手の育成を、なさっているロト中谷さんが、の夏休みを利用されて小中学生を率いて合宿形式のセミナーそしてコンサートを魚津で展開をしていただくものであります。

主な行事といたしまして、すでに交流コンサートが行われていますが、清流小学校などでのコンサートや給食体験交流などがあります。この行事そのものは、クレア（自治体国際化協会）の応援をいただいて、国際音楽交流事業ということで展開をするものです。

【質疑応答の内容】

○「ペットボトル水平リサイクル」について

《記者からの質問》

この事業の目的について再度伺いたい。年間100トンの回収をしているとのことだったが、このボトルt oボトルは100%を目指しているのか。

《回答》（市長）

目的は、やはり環境負荷の低いリサイクルで脱炭素化、CO2を減らしていくということになるかと思えます。それを市民の皆さんのご理解をいただいて、展開していくということです。ゼロカーボンを謳っている市でもありますので、しっかりそういった市民ベースの活動につなげるようにやっていきたいと思えます。市で回収したペットボトルは基本、この水平リサイクルで100%を目指して取り組んでいきたいと考えています。

○「石川歩投手の復帰」について

《記者からの質問》

ケガで育成契約となっていた石川歩投手が30日先発し、勝利投手となったことについて伺いたい。

《回答》（市長）

改めて、すごく嬉しいです。本当によく頑張って、リハビリに取り組まれたなど思っております。育成契約になったときもそんなに心配することではないとは聞いていましたが、しっかり回復して復活されたのは、本当に今回嬉しいです。また応援に行ける機会があれば、ぜひ行きたいと思えます。